



【BGM の世界 その 7】

ロス・インディオス・タバハラス

(Victor SHP-5270 Stereo)

2017/02/26

堀端 俊雄

★ タバハラス族のこと

北部ブラジルに栄えたインディオ種族、大西洋に面した**ブラジル東北セアラ州**のジャングル地帯に生活する勇敢な一族

★ ロス・インディオス・タバハラスの生い立ち

部落の一つにミタンガと言う酋長がいました。

彼には30人の子供がいましたがその中の二人の息子が「ロス・インディオス・タバハラス」として



ロス・インディオス・タバハラス

フランス領有名なムサベリとエランディの兄弟です。ムサベリは三男、エランディは4番目の息子です。アマパー州



SIDE 1	
1. マリア・エレナ	マリア・エレナ
Maria Elena	Fortaleza
2. マラン・カリウ	マラン・カリウ
Maran Cariua	セアラ州
3. 踊るインディアンたち	踊るインディアンたち
Los Indios Danzan	
4. 湖のほとり	湖のほとり
A La Orilla Del Lago	ベルナンブコ
5. ムーンライト・セレナーデ	ムーンライト・セレナーデ
Moonlight Serenade	アラゴアス
6. バイヨン・ボン	バイヨン・ボン
Baton Bon	
SIDE 2	
1. バハロー・カンガ	バハロー・カンガ
Pajaro Campana	リオグランド
2. スター・ダスト	スター・ダスト
Star Dust	カタリニナ
3. 愛の言葉	愛の言葉
Ternura	カタリニナ
4. アリス・マリア	アリス・マリア
Ay Maria	エストリト
5. ヴァルス・クリオリョ	ヴァルス・クリオリョ
Vals Criollo	カタリニナ
6. ジャングル・ドリーム	ジャングル・ドリーム
Jungle Dream	カタリニナ
ロス・インディオス・タバハラス	

★ 若いインディオ兄弟の成功

噂を聞いたサン・パウロの興行屋が早速この兄弟をスカウトし、ここに6年間にも及ぶ中南米各地への演奏旅行が始まった訳です。ブラジルの首都リオ・デジャネイロをはじめ各地で大当たりとなりました。大成功をおさめた演奏旅行中にも、音楽の基礎的教養の必要を痛感した兄弟は、その後コンサート活動を一時中止し、ギターの本格的修練に全力をあげました。音楽教師のもとで2年間にわたり和声学、作曲法など専門的なものも身に着けました。クラシックに対しても興味を持ち、レパトリーの中にはインディオ民謡は勿論、バッハ、ベートーベン、ショパン、リムスキー・コルサコフ、ファリア、アルベニスに至るまでが網羅されるまでになったのです。最近では彼等の演奏した”マリア・エレナ”(蒼きインカの調べ)がプレスリーやニール・セダカ辺りと肩を並べて全米ヒット・パレードに記録的な進出ぶりを見せ注目を浴びています。

1963年9月下旬には競争の激しい全米ヒット・パレードに登場、その後瞬く間に人気上昇し、11月はじめには遂にビルボード、キャッシュボックス両誌における全米ベスト・テンに見事な進出ぶりを見せています。このラプラタの大自然を思わせる香り高い演奏が全米に大流行している……その意味からもこれは1963年から64年にかけてポピュラー・ファンの最も注目すべきレコードと言えましょう。